



福島小学校

No. 10

校長室だより

平成28年1月28日

ホームページ <http://www9.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

1・3年 発表集会

校長室だより10号は、1月22日(金)に行われた「1・3年生の発表集会」の特集です。この日は、1年・3年ともに20分はかかるということで、集会を8時45分からスタートしました。いつも歌っている集会の歌などもカットしていましたが、45分以上の長い集会となりました。なのに、1・3年生の発表や児童会からのお願いなどをしっかりと聞いていました。

児童会 「あいさつをしましょう」



児童会では、毎朝あいさつ運動を校門で行ってられています。また、アルミ缶や缶のプルタブの回収も行っています。集会では、最近あいさつが良くないので、あいさつの悪い例



〔悪い〕例

と良い例の発表をしてくれました。

〔良い例〕

簡単な寸劇をしてくれ、どんなにあいさつをすれば良いのかがよく分かりました。2月5日には来年度の新役員が決まる児童会選挙を行います。新役員さんにも、しっかりとあいさつができる学校になるように、がんばってほしいと思います。

1年生の発表 「たぬきの糸車」



民話の「たぬきの糸車」は、今では1年生の国語の下の教科書に出てきています。山奥の一軒家に住んでいるきこりの夫婦といたずらたぬきのお話で、糸をつぐむ「キーカラカラ キークルクル」の音が大変印象的です。

劇では、子ども達の言うセリフは、教科

書から抜き出したり先生が考えたりのりしたそうです。それぞれの場面で歌う歌も5曲歌うために、11月の参観日の後から練習を始めたと言いました。そのかいがあつて、当日は配役がぐるぐる変わる中で、はつきりセリフを言うことができいました。5曲の歌も、大きな声で歌うことができました。思い出すと、校長室の上から歌の練習をしている1年生の大きな声が聞こえていました。1年生の皆さんの発表は、とてもすばらしかったと思います。よくがんばりました。



3年の発表 「サマーフェスティバルの秘密」

3年生は、総合的な学習の時間を使って、福島サマーフェス

【お世話になった方々】

ティバリのことを調べて発表してくれました。わたくしも、昔地域で行われていた祭りや学校の夏祭りがいつしよになったことなどは知っていました。詳しいことまで知らなかったのが大変興味深くみせてもらいました。



「サマーフェスティバルの歴史」



- ・福島音頭は、100年以上続く伝統のある踊りである。
- ・昔は、学校ではおななく、地域の空き地で踊りを毎年行っていたが、マンションが建つことになり、平成10年に学校の夏祭りや合体して今年で18回目になる。

「福島音頭の秘密」



「歌詞」

- ・今年のサマーフェスティバルの歌詞は、去年のものとは違う。
- ・福島音頭の歌詞は、歌い手さんによって違い、持ち歌がある。
- ・かつては、夕方から朝まで続く踊りであったが、戦争中に盆踊りが一時ストップになった。戦後、苦勞して復活させたが、記憶に頼っての復活であったため、大変苦勞したそうです。



「踊り」

- ・伝統を守るため、地域の方が毎年学校に教えに来てくれている。
- ・「みんなで伝統を守るう！」そのためにも、福島音頭を覚えてみんなが踊ってほしい。今年度から、全校生で踊ることになりました。

「太鼓のリズム」



- ・太鼓のリズムは、昔から伝わっている。昔は2種類あったが、今は1種類しか行っていない。子どもセンターの行事の中で、地域の方から太鼓の叩き方を教えてもらっている。

- ・サマーフェスティバルで使う太鼓は、九頭神社で管理している。

「やぐら」



- ・やぐらは、くぎを一本も使わずに組み立てられている。保管は、九頭神社の倉庫で管理されている。
- ・やぐらは伝統工法で作られているので、伝統工法を知る腕の良い大工さんでないと作れない。

「夜店の秘密」



- ・育友会のお母さんたちは、夜店を開くために5月頃から集まって会議を開き、準備を進めてくれている。
- ・運営は、地域の方からの寄付金などでまかなわれている。
- ・地域の方も夜店を出してくれている。衛生面に気をつけている。